

○ 近畿産大豆の単収

大豆の単収は、播種時期や収穫時期の降雨による作業の遅れや生育期間中の低温・日照不足など天候の影響を受け易く、年次変動が大きい。

近畿産大豆の単収は、110kg~140kg/10aと低位で推移しており、令和3年産の単収は118kg/10a（前年対比104%）となった。

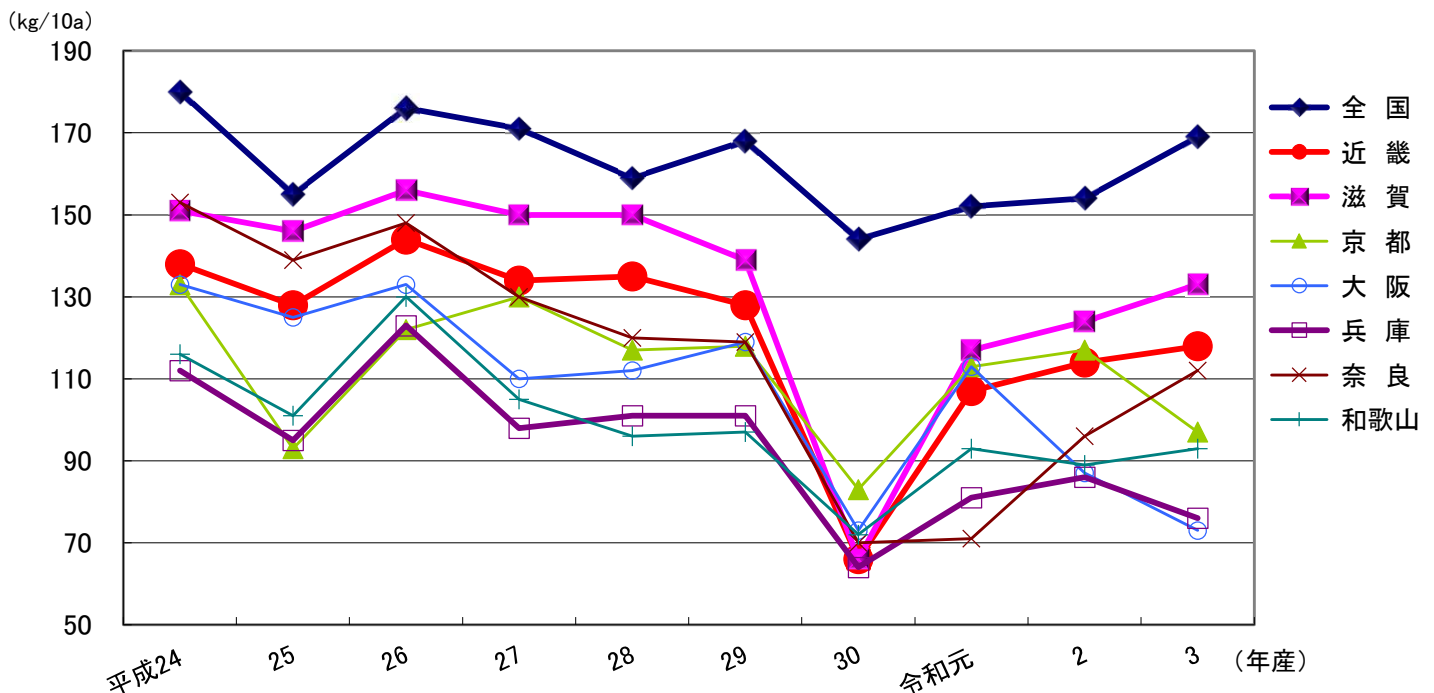
食料・農業・農村基本計画で掲げる生産努力目標（令和12年：34万トン）の達成には、単収の向上が必須となっているが、全国的にも単収は伸び悩んでいる状況。近畿産大豆においては、大豆作付面積のうち黒大豆の占める割合が高く平均単収が低くなる傾向にあることを踏まえても、全国平均単収を大きく下回っており、単収向上に向けた取組が大きな課題となっている。

近畿産大豆の単収の推移

（単位：kg/10a）

年産 府県	平成24	25	26	27	28	29	30	令和元	2	3
全国	180	155	176	171	159	168	144	152	154	169
近畿	138	128	144	134	135	128	66	107	114	118
滋賀	151	146	156	150	150	139	66	117	124	133
京都	133	93	122	130	117	118	83	113	117	97
大阪	133	125	133	110	112	119	73	113	87	73
兵庫	112	95	123	98	101	101	64	81	86	76
奈良	153	139	148	130	120	119	70	71	96	112
和歌山	116	101	130	105	96	97	72	93	89	93

資料：農林水産省「作物統計」



資料：農林水産省「作物統計」